

第6章 CIM 技術の活用（複雑形状の立体的可視化）

1 検討ベース

1.1 使用した現況地形等

基盤地図情報	基本項目	(国土地理院)
基盤地図情報	数値標高モデル	(国土地理院)
航空写真		(国土地理院)

1.2 主要プログラム

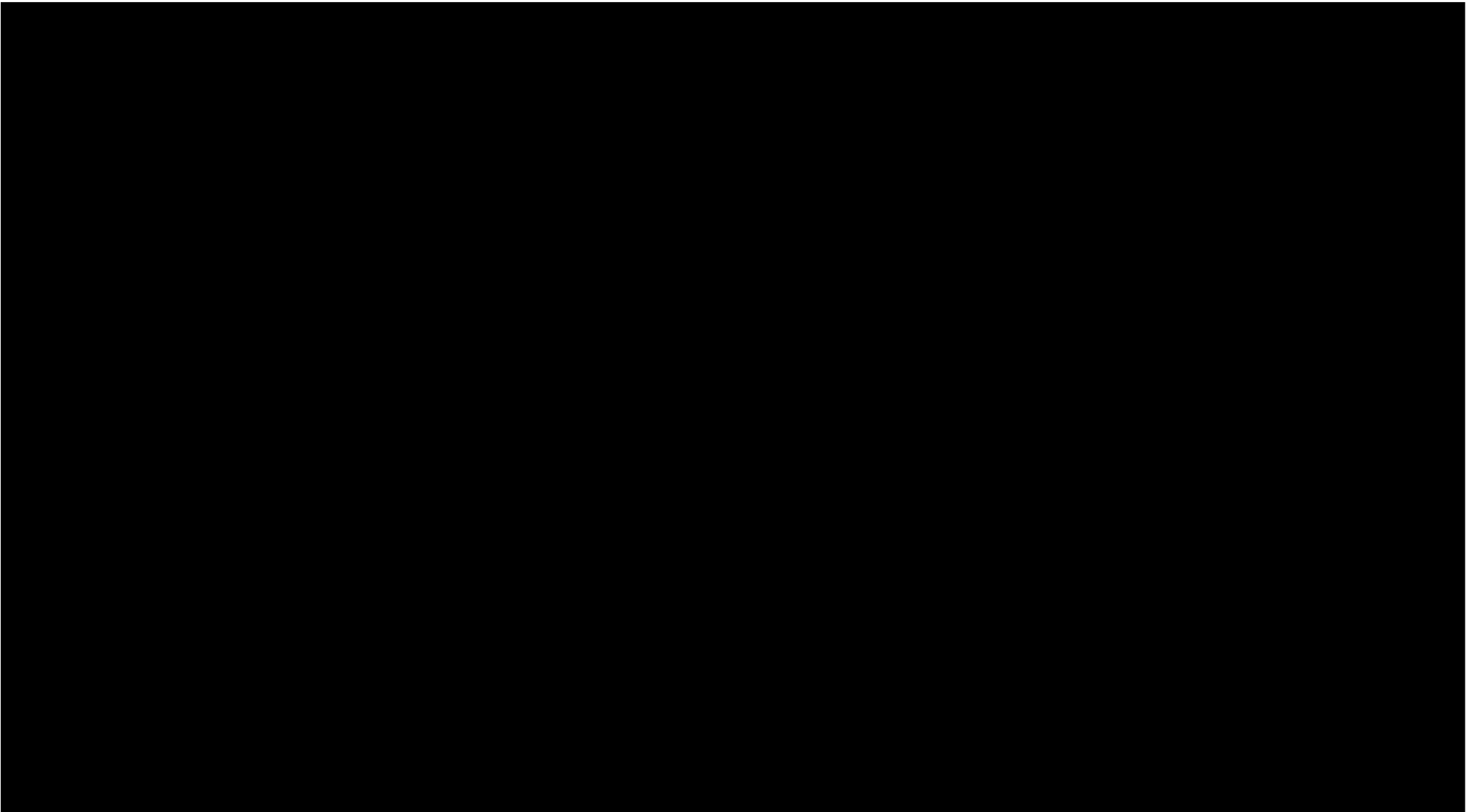
使用するソフトウェアの情報を下表に示す。

使用するソフトウェア

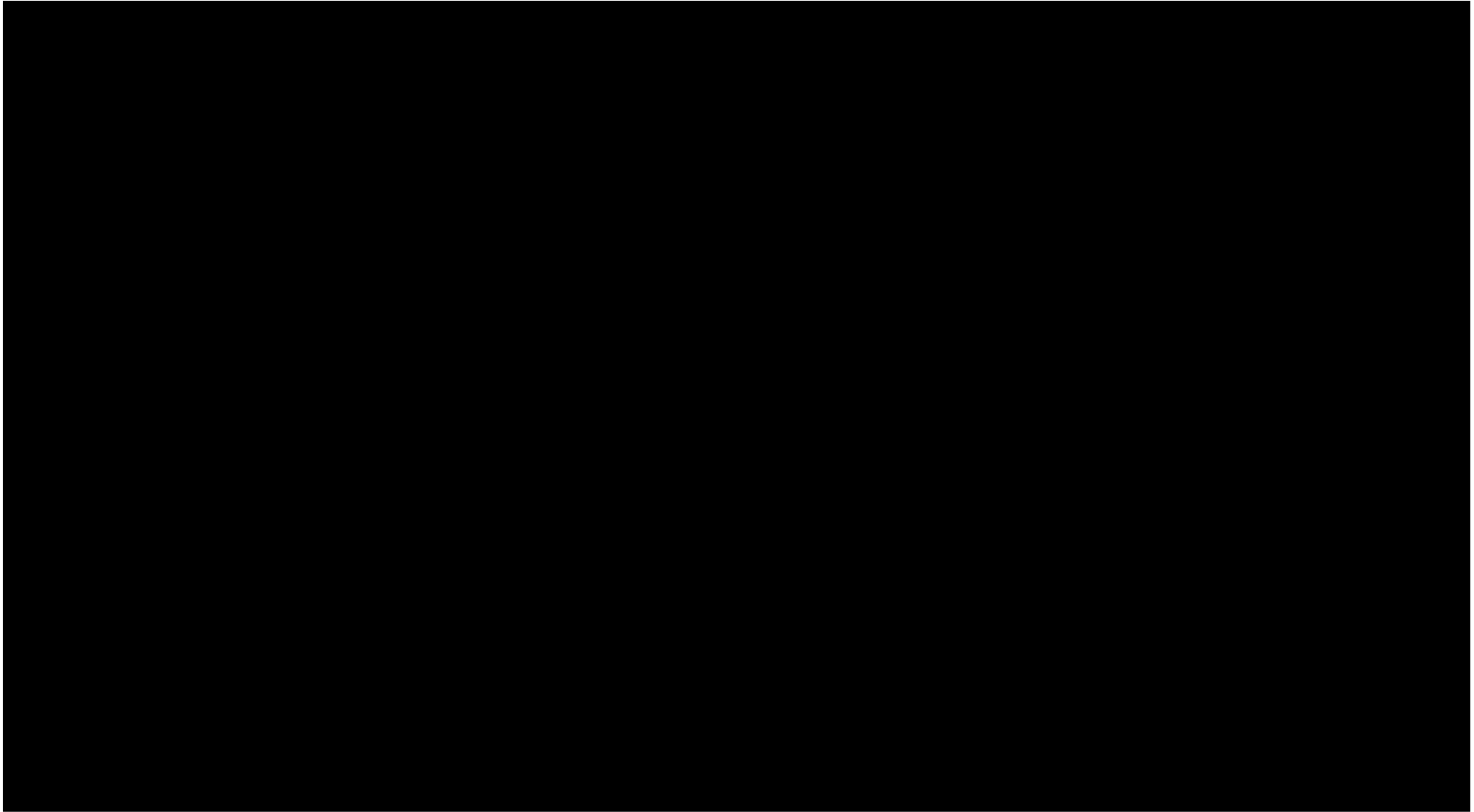
ソフトウェア名(開発会社名)	バージョン	用途
AutoCAD (Autodesk)	2020	3D モデル作成
Civil3D (Autodesk)	2020	線形構築および地形モデル作成、航空写真
InfraWorks (Autodesk)	2020	統合モデル作成、動画作成
NavisWorks (Autodesk)	2020	統合モデルの 3D ビューアソフト
QGIS (GNU General Public License)		建物属性付与、航空写真編集

2 本線

2.1 平面投影



2.2 俯瞰图

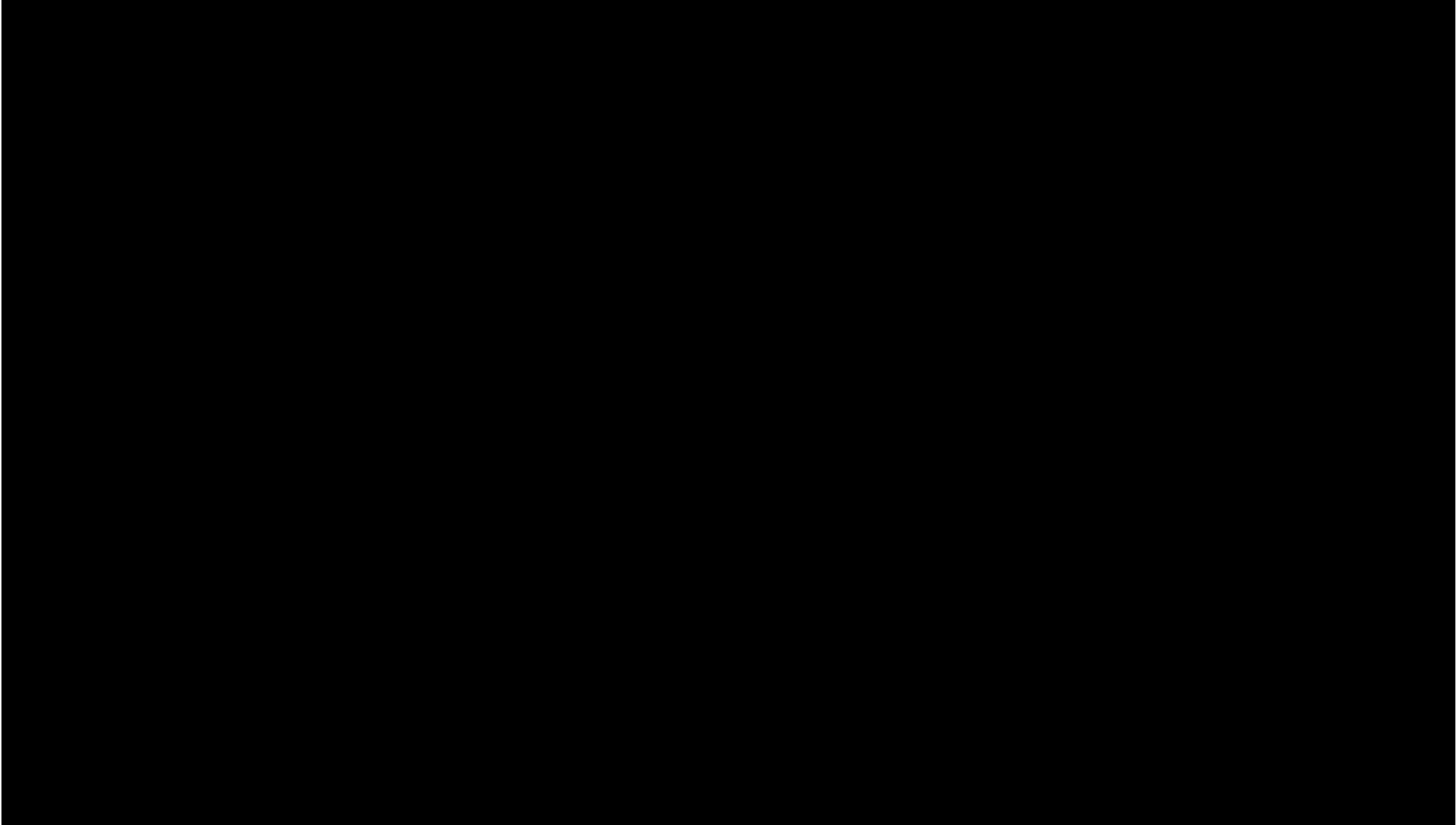


2.3 地中から

3 連絡施設

3.1 中間 JCT/IC

3.1.1 平面投影



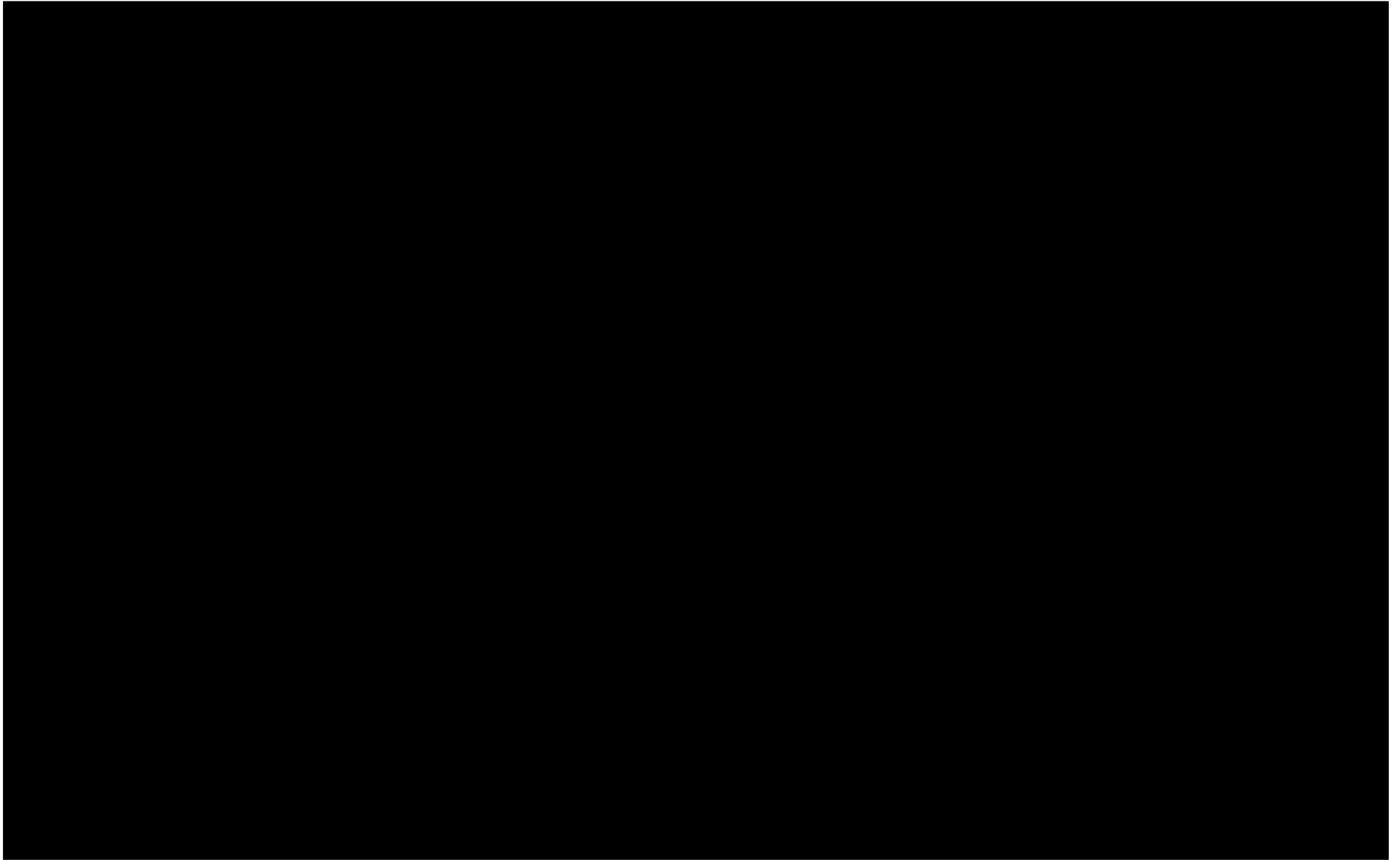
3.1.2 俯瞰図

3.1.3 地中から

3.2 中間① IC

3.2.1 平面投影

3.2.2 俯瞰図



3.2.3 地中から

